



長峰古墳群第39号墳から出土した鉄剣2口・短剣2口・ガラス小玉56点 新たに21件目の龍ヶ崎市指定文化財を指定しました(1/24)

龍ヶ崎市教育委員会は、市内の文化財を周知し、活用してもらうため新たに21件目の市指定文化財を令和6年1月24日(水)に指定しました。

市指定文化財として指定されたのは「鉄剣・短剣・ガラス小玉(長峰古墳群第39号墳)」です。

今回指定された鉄剣2口・短剣2口・ガラス小玉56点は、平成12年(2000年)6月から財団法人茨城県教育財団が発掘調査を実施した長峰古墳群第39号墳から出土したもので、龍ヶ崎市が所蔵し、龍ヶ崎市歴史民俗資料館にて展示しています。



▲指定文化財(鉄剣・短剣・ガラス小玉)

古墳は後世の改変を受け墳形や規模は不明で埋蔵施設の大半が破壊されていましたが、発掘調査の結果、副葬品として鉄剣・ガラス小玉のほか、銅鏡などが出土しました。

銅鏡は、白銅質の内行花文鏡(ないこうかもんきょう)で、既に平成19年(2007年)2月28日付で市指定文化財として認定しています。

長峰第39号墳は出土遺物から古墳時代前期と確認され、銅鏡・鉄剣・ガラス小玉と、まさしく神話にでてくるような3種の宝器がそろった副葬品の出土例は少なく、茨城県南部の同時代を知る上で貴重な資料となっています。

本市教育委員会では、今後も指定文化財の指定や文化財説明板の整備などを続けていき、歴史の面から龍ヶ崎市の魅力やシビックプライドの醸成をしていきたいと思えます。

■文化財の大きさ・重さ

- ・鉄剣①55.1×3.3cm 397g
- ・鉄剣②58.3×2.8cm 389.8g
- ・短剣①17.3×2.6cm 54.6g
- ・短剣②6.2×1.8cm 11.3g

■指定日	令和6年1月24日(水)
■件名	「鉄剣・短剣・ガラス小玉(長峰古墳群第39号墳)」 (所蔵:龍ヶ崎市歴史民俗資料館)
■内容	鉄剣2口・短剣2口・ガラス小玉56点
■資料	写真

担当課	龍ヶ崎市教育委員会事務局 文化・生涯学習課 文化学習推進グループ 担当者:由利・関(ゆり・せき) 連絡先:0297-60-1563(直通)
-----	-----------------------------------------------------------------------------